



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.39 2005.6.1 (No.2366)

第2560地区ガバナー / 横山 芳郎
 会 長 / 渡邊 喜彦
 会長エレクト / 小越 憲泰(クラブ奉仕A)
 副 会 長 / 渡辺 勝利(クラブ奉仕B)
 幹 事 / 五十嵐 寿一
 S A A / 船越 正夫
 会 計 / 荻根澤 隆雄

例会日 / 毎週水曜日 12:30 ~
 例会場及び事務局 /
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場 / TEL 34-3311
 事務局 / TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

本日の出席会員数:66名中51名
 先々週出席率:82.26%

【ヴィジター】

・三條北より 山上茂夫さん

【ゲスト】

・ 電腦企画室ズーム代表
 関根 聡様

【先週のメイクアップ】

【5.25】新井RCへ

・ 加藤紋次郎さん

【5.30】三條南RCへ

・ 斎藤弘文さん、五十嵐晋三さん

【5.31】三條北RCへ

・ 斎藤弘文さん、渡邊喜彦さん、
 ・ 松谷昊吉さん、山田富義さん、
 ・ 五十嵐晋三さん、熊倉昌平さん、
 ・ 高森章仁さん、石橋育於さん、
 ・ 丸山行彦さん



「ロータリーを祝おう 100年の歩み」
 2004~2005年度国際ロータリーのテーマ



芝桜

会 長 挨拶

渡邊喜彦 会長



みなさんこんにちは。今日は、卓話をお願いしております電腦企画室ズームの関根さん、お忙しい中ありがとうございます。後ほどよろしくお願い致します。また、三條北クラブより山上さん、ようこそおいでくださいました。どうぞごゆっくりお過ごしください。

さて、いよいよ長い冬から春になり木々の緑もすばらしい季節となりました。ゴルフ場の芝もようやく緑増し、絶好のコンディションとなつてまいりました。当クラブのゴルフ同好会も、お聞きすれば来月7月7日から8日にかけて日本海カントリーでプレーを楽しみ、宿泊で懇親を深めるという計画が立てられているそうです。私も是非参加させて頂きたいと思っております。

本日ロータリーの友、53ページに地区クラブでの出席一覧表が載っております。それを見ますと我が2560地区が77.64%と一番低い出席率となっております。ぜひ皆様と努力して、せめて三條クラブは出席率を高めるように致しましょう。

さて、グレンE・エステス シニアRI会長「ロータリーを祝おう」で始まりました一年間でございましたが、ようやく私も三條ロータリークラブ会長の職務が今月をもって終了致します。

本当に長い一年間でありました。皆様方にご心配をお掛けしておりました細井さんの件も、おかげさまですべて片づきホッとしているところであります。後は、私の果たす責任としては、一つは、水害見舞金の残金の処置でございます。私と致しましては、三條市の被災された方々にお分けしましても、一軒当りに配布する金額は大変微少な金額となり、あまり浄

財の価値が無く、もつと価値ある生かし方は無いが、と三クラブの代表で検討させて頂きました。

その結果、三条市を流れる五十嵐川の堤防を改修し、この度の悲惨な災害が二度と起こらないよう工事を開始されております。その土手の改修に関して土手の近辺に、いくつかの記念碑がございますが、その移動と新たな設置に是非この予算を加え、そこに記念樹を植え、長く災害の記録を残し、後世に市民全員が力を合わせ復興に努力した事を伝えてゆきたいと考えております。早速行政ともご相談を申し上げながら、事業を進めております。丁度本年は、我が国際ロータリークラブ100周年という記念すべき年でもあり、是非これらの文言も刻み後世に残してゆくべく努力してまいりたいと思っております。

二つ目は、何故か突然臨時AGとなり、大変とまどっているところでありますが、当クラブの細井前AGの仕事を引き継ぎなんとか横山ガバナーにこれ以上ご迷惑をお掛けしないように、と努力させて頂いているところでございます。その臨時AGの仕事の後始末が二つ目の責任でございます。

そんな訳で、いろいろと大変な一年でしたが、なんとかもう少しで終わりそうで少し胸をなでているところでございます。取りあえず経過のご報告をさせていただきます

以上で本日の会長挨拶を終わります。

幹事報告

五十嵐寿一幹事

三条市青少年育成センターより

「三条市青少年健全育成市民大会」協力依頼がとどいております。

開催日 7月9日(土) 13:30 ~

会場 三条市中央公民館大ホール

テーマ 「子どもは宝」

大会説明会 6月20日(月) 19:00 ~

於 青少年育成センター 2F

新世代奉仕委員長のご出席をお願いします。

神成ガバナーエレクト事務所より

地区内社会奉仕委員協議会開催のご案内がとどいております。

とき 6月9日(木) 15:00 ~

ところ 万代市民会館

社会奉仕委員長にご出席をお願いします。

ニコニコBOX

渡邊喜彦さん

私の会長任期も今月一杯となりました。ありがとうございました。今日の卓話をお願いしております関根さん、ご苦労様です。

北RC 山上茂夫さん

久し振りに病院から退院できました。ロータリーは精神衛生上よくきくお薬だと思ってメイクアップさせて頂きました。よろしくお願い致します。

小越憲泰さん

ズームの関根さん、今日は卓話ありがとうございました。三条工業会齋藤理事長、先日の総会ご苦労様でした。

齋藤弘文さん

(協)三条工業会の総会も終わることが出来ました。

五十嵐昭一さん

夏がやって来ました。平年並の暑さで台風があまり来ないことを期待致します。

佐藤 武さん

今日から衣更えです。気温の変化に体調をくずさないよう頑張っています。関根 聡様、卓話ありがとうございました。

樺山 仁さん、石月良典さん、小柳直人さん、若槻八十彦さん、会田二郎さん、石塚欣司さん、川瀬康裕さん、松永一義さん、成田秀雄さん、船越正夫さん、五十嵐寿一さん

関根様、卓話ありがとうございました。楽しみにしております。

永井敏行さん

久しぶりの出席になります。申し訳ありません。

平原信行さん

都合により早退致します。卓話聞けずに申し訳ございません。

6月1日分 ￥ 21,000

今年度累計 ￥ 953,000



卓 話

「古事記を学ぶ」

電脳企画室ズーム 代表 関根 聡 様



私、電脳企画室ズームの関根と申します。10年前にこの地に神奈川より来まして、CD、写真等、またパソコンの手を借り、デザインの作成を手がけて来ました。そんな機会があって、飲食店組合の方々にパソコンの講習会をしたりして、そんな折、小越さんの奥さんとお

知り合いになり、ハイサーブさんのホームページや製品カタログの製作等、皆様にご利用いただいております。また龍昇園様のホームページ、三条の写真展の企画、産業カレンダーの基本的な処を作成したりして来ました。昨年7月13日当日は写真展を行うことになっていました折、水害に出遭いその実態をカメラに収めて来ました。特に消防団の方々の一生懸命に作業している姿を写真に収め、そんな折、消防団の方から写真を取り寄せてくれとの依頼があり、それをCDに作成したり、また三条新聞の方に写真を提供することとなりました。一般の方々より写真を希望される人達がありましたが、三条新聞社では写真は内部資料の為出せないとのことで、私の処に写真集を出してくれないかと依頼されました。そんなことからパソコンを使ってCD、写真の編集が仕事となってきております。今日の話は今迄の話と違ひまして、「古事記」についてお話ししたいと思っております。



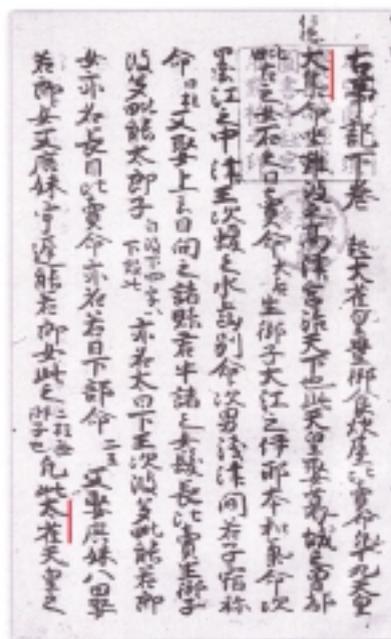
「古事記」は日本で初めての本で、パソコンで調べますとテキストがありまして、自分が調べたい事柄は、皆パソコンで調べられる様です。「万葉集」「日本書紀」いずれもインターネットでテキストが手に入る訳です。その資料の検索を繰り返すことで色々なことが分かってきます。作業をしていると、この時代の言葉がこん

な風に使われているのか！ということが解ってくるのです。その様なことをまとめて皆様への資料にした訳です。

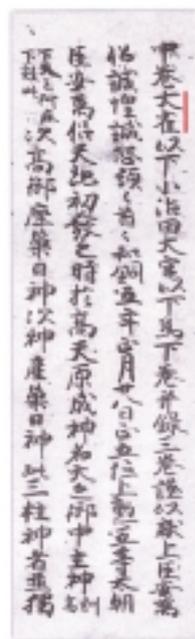
コンピュータのテキストはその研究者の手にかかっている訳で、それが事実であるかどうかは問題であると思います。それを解明するには、「古事記」や「万葉集」等の原本を見なければ実際に解りません。「古事記」そのものは、712年奈良時代に作られたもので、本物は無くなっているの、残っているのはその「写本」だけです。その写本も二種類ありまして、1371～2年に書かれた「真福寺本古事記」が基になって研究されている様です。本物は名古屋にあります、昭和18年に写本が出来上がったものが、「真福寺本古事記」の写本です。「写本 上・中・下」を回覧しますので、手に取ってご覧下さい。内を見ますと解る字がありますので、その字のニュアンスで理解出来る処もありますが、あとは全く読めません。

私は、この「真福寺本」を基に更生されたこの古事記が、信頼性の高いものと思われま。最も学者の間では間違いがあるのではないかと云われる処もある様で、書かれてないものが書かれてあったり、私はインターネットで取れるテキストは全て間違いの様に見え、改行を元に戻して、字を元に戻して、ホームページ上でやりましたが、650年前に行われたことをホームページでやっている訳です。本当の古事記の読み方は、簡単に読むことができませんので、そのことを少しお話し致します。

古事記の内容は？



影印2 下巻の冒頭



影印1 序の末尾

序の末尾の冒頭に大雀(オオスズメ)と書いてありますが、これは仁徳天皇のことで、下巻の冒頭の大集(オオアツマリ)と書かれ、同じ意味であるのに別の字を用い、下巻の末に太雀天皇...と書かれたりしてます。これはどうしてこの様に文字を書かれたかは問題ですが、研究に値する訳です。

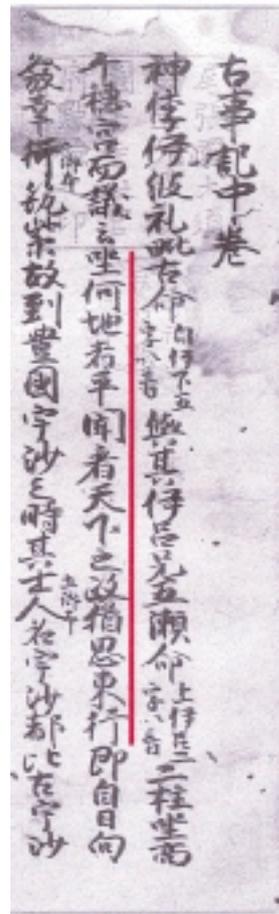
本居宣長の解釈

坐①ザとは
何②イカニ？
。地①チ
者②を
平③タイラぐと
聞④キく
。看①メして
天②アマの
下③シタ
、之④コレを
政⑤マツリゴトす
。猶①ナホ (やはり)
思②オモウ
、東③ヒガシへ
行④イかん
。

坐何地者平聞看天下之政猶思東行

関根聡の解釈

坐③イマ
何①イズ
地②クに
者④さは
、平⑥タイラけく
聞⑩キこし
看⑪メさむ
天⑥アメの
下⑦シタ
之⑧の
政⑨マツリゴトを
。猶①ナホ
思④オモふ
東②ヒナムカシに
行③イかむと
。



影印 4 中巻の冒頭

古事記の読み方は？

古事記の読み方に移りますが、(坐何地者平聞看天下之政猶思東行)これをどう読むかは、その人によって違う訳です。

古事記の編集にあたった石上朝臣麻呂(640～717)についてお話しします。石上朝臣麻呂は奈良初期の貴族で、物部連麻呂といい壬申の乱(672)では近江朝廷側に組み、大友皇子の自死を看取っている。乱後遣新羅大使となり、中納言・大納言・右大臣・左大臣と、とんとん拍子に出世し、和銅3年(710)平城遷都の時、藤原宮の留守となり、「古事記」の編纂にあたったと推

測され、「古事記」が完成後再び政務に復帰したとされている。歴代天皇からの信任を厚く受けていたと言われる。

この様に、「古事記」について調べれば調べる程難しく分からない事柄が分かってくると、興味が出てくるものです。

走り走りの話でしたが、これで終わります。

興味のある方はホームページにアクセスして下さい。

ホームページのアドレス <http://www.kojiki.org>

次週例会 6月15日 外部卓話 三条警察署
署長 猪俣良二様

次々週例会 6月22日 クラブ・フォーラム

